

令和6年度 学校評議委員からの助言等

項目	助言内容
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革などもあり、大変であると思うが、今後も学力向上、またSSHの特色を生かした探究活動がさらに高められるような教育活動をお願いしたい。 ・保護者からの満足度も高く、とても良いことだと思う。 ・ICT教育など大変なところも多いかと思うが、教員の働き方改革は是非とも引き続き取り組んでいただきたい。 ・「姫路東高校に入学させてよかった」の項目における保護者満足度が3.7と高いかつ昨年より0.4上昇しているのは素晴らしいことである。 ・分析に記載されている「各教員の保護者や生徒に対するホスピタリティの高さ」の具体化と勤務適正化と合わせて、どうあるべきかについて総合的に考えることが大切かと思う。 ・生徒、保護者ともに東高に入学したことの満足度が高いことは、高く評価されて良い。今後も東高のブランド力を更に高めるよう、引き続き充実を図って頂きたい。 ・教員の働き方改革を積極的に進めていってほしい。 ・A評価を目指して取り組んでいってほしい。 ・先生方は、生徒や保護者のニーズに応えられるよう、広く、世界や日本の社会動向に目を向けながら、常に新しい取り組みに挑戦されており、それが、生徒や、保護者から高く評価されている。 ・自由記述などを通じて、先生方ご自身の率直な意見、素朴な疑問を伝えることができる心理的安全性が確保された職場環境があるように感じた。 ・著しい社会環境や教育制度の変革に柔軟に対応し、挑戦を続けるためにも、心理的安全性が確保される職場環境は、経営者の強い理解により醸成されている大変重要な要素で、大変、素晴らしい環境があることに感銘を受けた。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新が遅いのと、電話がつながりにくい件が気になり、メールシステム化できればと思う。 ・予算などの兼ね合いもあると思うが、欠席連絡等の連絡についてアプリなどのシステムの利用を検討されても良いと思う。 ・教員の業務負担軽減にもつながる（検討されているかもしれないが、その場合には引き続きご検討いただきたい。） ・情報提供については、適時適切に行えるよう、属人的な作業ではなく、システム化を進めていって欲しい。 ・生徒・保護者が、いつ、どのような情報をどのようなツールを通じて必要としているのか、予め整理することで、学校、先生方

	<p>からの情報提供も、より一層、意味深くなるのではと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新や、欠席連絡、保護者とのコミュニケーション手段など、他校での取組、特に先生方の役割などを参考にして、取り入れられることもあるのではないか。
<p>キャリア教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受験に必要な最新の情報が、もっと生徒や保護者に発信してもらいたい。 ・職業ガイダンスセミナーが行われており、満足度も高いように思う。実施形態が不明だが、生徒の様々な可能性を引き出せる形を模索しながら（ワークショップ形式等）、今後も続けていただきたい。 ・学校全体としての進学等の状況がはっきりしないが、生徒一人一人が適切な進路を選択し、その進路に進めるよう、丁寧な情報提供と指導を充実させてほしい。 ・1年次から、就職ガイダンスセミナーや関西企業訪問など、直接、学校外の方々から情報を得る機会を設けていることは、キャリアを考えるにあたって、非常に良い機会になっていると思う。 ・卒業生の方々からの協力など、多くの方からの支援を得るなど、工夫もされているのではないかと見受ける。 ・ボストンバイオジェン社での研修など、具体的な国際的な活躍の場での体験は、非常に有効な経験ではないかと思った。また、その後、どの様なキャリアビジョンに変化があったのか、経年的な変化について、とても興味がある。
<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もいじめの未然防止やコミュニケーション能力の弱い生徒への対応強化を継続してほしい。 ・生徒からの学校行事への期待感が感じられる。生徒の可能性を広げる意味でも学校行事は重要な特別活動かと思うので、伝統を守りながらも、時代に合わせた形で実施できるよう、引き続き生徒とともにさらに良いものに作り上げてもらえればと思う。 ・「本校は、学校行事の内容が充実して・・・」の項目において保護者の満足度が上がっている。昨年と比して新設または改善された行事は何だろうか。その行事を注視して「生徒の受けとめ方」など分析する価値はあると思う。 ・全般としてコミュニケーション能力の低下が強くなっている中、効果的な指導方法を工夫してほしい。 ・服装やスマートフォンの利用他、今後、ますます、生徒の個々

	<p>人の判断で運用等を促すような指導が進むのではないかと思うため、安全と健康への配慮は、より一層、重要なテーマになるのではないか。</p>
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・東高は姫路城や姫路駅にも近いため、地域イベントなども多数あると思う。 ・ボランティア活動だけでなく、生徒会、部活動などから学業と調整をとり、イベントなどに参加するのも良い機会となるのではと考える。 ・SSHだけでなく、その他の探究活動も含め、大学や地域との連携を検討してもらえるとありがたい。昨年度に続き、今年度も2月に探究活動に関する高校生プレゼンフォーラムを兵庫県立大学環境人間学部で実施した。近隣では姫路西高や加古川東高の生徒も参加しており、高校生間での質疑をはじめ生徒間の交流の時間もあるなど、生徒主体の会となっている。また、希望すれば環境人間学部の教員からも専門的な意見や発表方法、まとめ方に関するアドバイスももらえる。是非とも来年度は姫路東高校の生徒にも参加いただければと思う。 ・東高が世界遺産姫路城内に立地する強みを生かした地域貢献は、極めて重要である。引き続き取り組んでほしい。 ・姫路城や、小中学校、県立歴史博物館、特別養護老人ホーム、お寺、アクリエ姫路などの地域施設でのイベント、清掃活動など、数多く地域に開かれた活動機会をもって、地域貢献をされていることに、深く、感銘を受ける。 ・将来、就学・就職で姫路市を離れることとなる生徒にとって、3年間の学校生活と地域、故郷と繋がる貴重な経験になると思うので、是非、楽しく有意義な機会として継続して頂きたい。
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・とても熱心に指導して頂いていると感じる。 ・学習評価は難しいところはあるが、進学実績も含めてしっかりと指導されていることは十分にわかる。分析にもあるように現状に甘んじることなく、学習指導に努めていただければと思う。 ・記載されている「恣意的な判断を排除し、公平な基準によって行われる学習評価の運用を徹底する」について、PDCAを組み込んだ取り組みが大切ではないかと思う。 <p>現状分析は十分にできていると思われるが、今後の対応や改善策がやや弱いと思われる。</p>
資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・進学校である以上、授業改善や指導力向上は必須だと思う。これからもご指導よろしくお願ひしたい。 ・一層のセルフプロデュース向上を図って頂きたい。

<p>特色教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SSHの特色を生かした探究活動などは、学力向上だけでなく、将来社会に出たときに国際的な活動へと繋がる。 ・SSH校として科学部の成果を含めて積極的な探究活動などを行っていることはとても良いことだと思う。生徒自身がSSHの取組に対して「効果があった」と感じていることもとても重要である。一方で、今後の取組・改善策の中で「世界に向けての発信力を高める」とあるが、まずは自身の考えを正しい日本語で正確に伝わるように表現できるようになることが先だと感じる。もちろん、改善点として意識すべき点だと思うが、大学で教育を行っている身として、国際化を意識した結果、母国語である日本語を正しく書けない学生が多いと感じることも多々ある。SSHの事業という事もあるかもしれないが、回答者の割合から改善点として考えるのではなく、生徒の今後の成長を見据え、生徒主体的な課題解決方法を考えていただければと思う。 ・Girl's Expo に仕事の関係で午前中のみ参加させていただいた。生徒の可能性を感じる一方、女性のみでの発表と言うところは違和感を覚えた。資料には「女子生徒の発表の場を提供する事が目的」とされているが、本来のあるべき姿として男女が対等に自然科学の研究に対して発表、議論できる場を提供することが重要で、理系女子や女性研究者について考えることが大事なのではないかと思う。近年、女子大に理系学部が設置されたり、理系学部に女子枠が出来たりと理系女子の増加を目指した取り組みなども行われているが、理系や自然科学と言う言葉にステレオタイプ化されている中で女子が少ないという目の前の課題を解決するための一手段にしかならないように思う。是非とも、姫路東高校では女性に発表の場を与えるだけでなく、先駆的に男女が対等に活躍できる場を提供できるような取組を示していただければと期待している。 ・東高のブランド力をあげる上でも、この分野は極めて重要であろう。生徒の負担感は、課題研究の満足・充実度と概ね反比例の関係にあると思われるので、そのあたりの視点も重要ではないか。 ・ワールドワイドな活動は、困難な面が多いと思われるが、WEB会議などにより、垣根が低くなっている面もあるので、引き続き高めていって頂きたい。 ・SSHを中心に、SSH×国際・SSH×女性など、テーマ複合的に設定して、特に、小中学校と合同で実験や発表取組まれてことで、より一層の工夫や広い視点での学習効果も得られたと思う。
-------------	---

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安心安全で学校生活を過ごせるように訓練や防災意識を高める教育をお願いしたい。 ・防災先進県とである兵庫県の生徒として、高校でも防災訓練を中心とするだけでなく、防災教育についてもより積極的に取り組んでもらえると良いかと思う。 ・災害大国日本にあって、この分野は避けては通れない。訓練がおざなりにならないよう、工夫して行ってほしい。
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から、もっと夏場の暑さ対策が必要なのではと感じた。 ・色々と制限があるとは思いますが、生徒が授業に集中できる環境に少しでも近づけて頂きたい。 ・学校での衛生管理について、引き続き取り組んでいただければと思う。 ・性教育に関しても保健の授業を活用するなど、意識的に実施してもらえればと思う。 ・集団生活の場でもある学校現場で、感染症を予防することは極めて困難である。保護者と一体になって、家庭での対応を含めた総合的で効果的な対策を進めてほしい。
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも人権意識を高めて、命を大切に思う心の教育をお願いしたい。 ・単純比較はできないものの、生徒よりも教員の評価の点数が低く、改善策にもあるように教員の人権意識や多文化理解、多文化共生、性の多様性などについての見識を高めていけるようにしていただけると良いかと思う。 ・生徒が自ら考えるよう、環境作りを含め進めて欲しい。
ICT 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した授業では、ネットワーク環境を整えて不具合などで授業の中断が無いように努めて頂きたい。 ・ICT機器の利活用を日々模索している状況かと思う。教育での活用だけでなく、教員の業務改善にもつながれば生徒への対応時間が増えるのではと思う。また、AIなども利用することでさらなる業務改善も図れるようになるかと思う。校内研修などでAIの上手な利活用の方法を模索されると良いかと考える。 ・日常生活と学校生活のIT環境に大きな格差が無いよう、必要なハード・ソフト整備を進めて行ってほしい。
国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も海外語学研修などの機会を与えたり、オンライン交流会などを実施したりして、国際社会で生きていく力を育成して欲しい。 ・英語力を高めるだけでなく、異文化理解について取り組まれて

	<p>いることはとても良いことである。姫路市にも外国人が多く在住しているため、地域とのつながりを強める意味でも、そのような方々との交流も強めていければ良いのではと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が機会を得られるよう、継続して行ってほしい。 ・生徒たちに多くの国際理解のための機会を設けていることが、生徒にも高く評価されている要因ではないかと思った。 ・2025 年度は、より一層の国際理解を深める国際博覧会の開催を契機ととらえて、国際理解への興味、関心の高い生徒を中心とした活動に加えて、学校全体で、伝統文化等、地域社会、地域との交流学习、姫路市を訪れる海外の方との観光や、学校と地域社会との広がりなど、新たな挑戦ができるのではと期待する。
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化設備の改修を引き続きお願いしたい。 ・校舎や備品の経年劣化は仕方がないかと思う。生徒の教育環境に主眼を置きながら施設の整備を計画的に進めていただければと思う。 <p>「本校は、ICT 機器を活用し、授業内容の充実や学習の効率化・・・」について環境面・活用面・広報の面から先進的な事例も踏まえ、一考することも大切ではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「探究活動や各授業での ICT 機器活用が進んでいるため、引き続き研修で効果的な活用について教員間で共有していく」を教育課程や授業論なども含めてブラッシュアップするか重要であるかと思う。 ・学校単体での対応には限界があると思われるが、中長期的な計画の元、必要な予算確保に努めてほしい。 ・インターネット環境や空調などの環境については、費用等の課題もあり簡単ではないと思うが、県教育委員会への申し入れなど、継続的な改善に向けた取組をお願いしたい。
外部対応	<ul style="list-style-type: none"> ・以前電話した時の対応は、丁寧でわかりやすかった。ただ、電話がつながりにくかった。 ・引き続き、外部対応の精度を高めていただけると良い。 ・案内・手続きのオンライン化なども取り入れつつ、わかりやすさとともに省力化もすすめて行ってほしい。
年次運営	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活の3年間は、生徒一人一人の人生の方向性を決定づける重要な期間である。各年次で現状分析されているマイナス要素を徹底的に取り除くことが求められる。